

にしきお

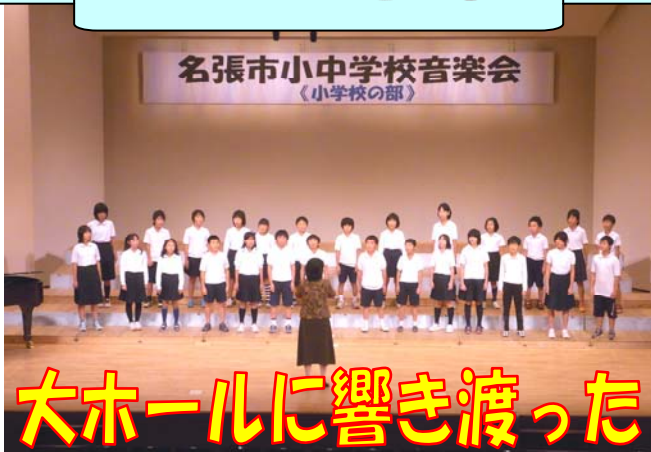


《ベゴニア》

第14号

錦生小学校だより

平成22年11月1日



大ホールに響き渡った 4年生・5年生の歌声

10月22日（金）、待ちに待った名張市小中学校音楽会（小学校の部）の日、4・5年生は午後の部に出演しました。会場はADSホール（青少年センター）、午後の部は9校の350人ほどの児童と引率教職員、そして今年度より抽選とはなりましたが、50名ほどの保護者の方にも入っていただいた中で開催されました。

錦生小学校は2番目の出演ということで、すぐにうまく声が出せるか心配されましたが、全体合唱「大きなうた」で声出しができたのか、1曲目の「ひとつぶのいのち」から伸びやかな声で歌うことができました。

続く「マイバラード」は、残念ながら昨年新型コロナウイルスの影響で中止となったため歌うことができなかった曲です。6年生の思いも込めての力強い合唱で、これまでの練習の成果を十二分に発揮することができました。

錦生小学校の歌声に大きな拍手が沸きあがりました。



本を読みましょう！

「読書は心の栄養」とよく言われます。豊かな心を育ててくれます。また、言葉の広がりにも欠かせないものです。しかし、1学期の錦生小学校の児童のアンケートでは、「読書が好きで、よく本を読んでいますか」という問いに対して、「よくあてはまる」という答えは40パーセントを切る結果でした。やはりテレビやゲームなどの時間が多いのでしょうか。

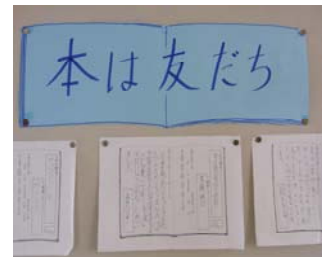
そこで、学校では読書のできる環境を増やそうと、名張市立図書館で100冊の本を借りて各学級20冊前後の本を置くことにしました。

また、学年によっては、廊下掲示板に「読書カード」や「図書すいせんカード」、「読んだよ！カード」などを掲示して互いに感想やお勧め情報を提供し合って読書の広まりに向けて取り組んでいます。家庭でもテレビを消して本を読みましょう。

【市立図書館からの本】



【感想や推薦のカード】



PTA人権研修会 「気づきと学び」の ワークショップ

10月29日（金）、PTA教養部主催の人権研修会が開催され、保護者、学校評議員、自治協議会役員、教職員等合わせて30人あまりの方に参加いただきました。今回はペア、グループで疑似体験や話し合いを通して互いに学び合いました。その一部を紹介します。

私たち大人が子どもに対して「ガサガサ落ち着きがない子」と決め付けてみてしまうのではなく、逆に「よく気がついて行動的な子」だなと見たらどうでしょう。「スローテンポな子」ではなく「落ち着いている子」と見たらどうでしょう。



このようにプラス思考の見方で対応することで、子どもの自尊感情が高まり自分に自信をもって行動できるようになるのではないのでしょうか。そして自分自身を大切な存在と思えるからこそ、人のことを大切にしようとする気持ちもわいてくるのではないのでしょうか。そんな気づきが生まれました。



また、日頃の親と子、大人と子どもの関係をみたとき、大人が子どもに対していかに強圧的な姿勢で接しているか、反省させられることもありま

した。立った人から姿勢を低くした人に話すという設定で実際に試しましたが、上からの視線、大きく激しい声、しかも一方的な話となれば「怖くて何も言えない、返せない」というように、子どもの人権を侵害してしまっていることにもなります。

相手を攻撃し、倒してしまおうとするドッジボールではなく、大人や親自身が心を開いて子どもの話や思いを受け入れ、その思いや願いをくみ取り、また子どもに大人、親としての思いや願いを返していく、キャッチボールの積み重ねこそが大人や親と子どもの、さらには人と人の強い「つながり」をつくり上げていく上で大切であるということに改めて気づかせていただく研修会でした。

11月の行事予定

- 3日（水）文化の日
- 4日（木）図書ボランティア（低）
- 11日（木）図書ボランティア（高）
- 12日（金）やまなみ号
- 13日（土）ふれあい行事（2・3限）
- 14日（日）錦生公民館祭り
児童の作品（絵画・書写）展示
- 15日（月）振替休業日
- 17日（水）代表委員会・愛校作業（5限）
- 18日（木）図書ボランティア（低）
- 23日（火）勤労感謝の日
- 24日（水）全校集会（5限：1・2年生発表）
- 25日（木）図書ボランティア（高）
- 26日（金）やまなみ号
名張市立学校・園美術展覧会
（29日12時まで：梅が丘小で）
- 30日（火）部落問題を考える小学生のつどい
（赤目中学校区の6年生）